

輸出拡大モデル事業(平成27年度補正予算:1.8億円)

事業の目的・概要

被災地における輸出拡大モデルの構築等の先進的な取組を実施し、水産品・水産加工品を中心とした被災地産品の輸出拡大の推進を図る。

取組概要

[販路開拓に向けたプロモーション]

○「北三陸産ウニ」の海外販路開拓(岩手)

北三陸産のキタムラサキウニを用いた輸出向け商品の開発と、輸出国(台湾、香港)でのマーケティングを行い、現地での販路を開拓する。



<成果>香港の小売業、卸売業者との取引が決定

○ 高品質マグロ加工品の輸出拡大(福島)

国内や輸出国(北米、カナダ)での商談会において、国内初となるHACCP認証を受けた高品質の生食マグロ加工品のプロモーションを行い、販売チャンネルを広げる。



<成果>カナダのコストコに、2回のコンテナ輸出

○ 現地シェフによる気仙沼食材の魅力発信(宮城)

インドネシアのシェフが気仙沼産牡蠣等を使ったレシピを開発し、現地メディアも活用したプロモーションを行うことで、インドネシアでの三陸食材の認知度向上による輸出拡大を目指す。



<成果>オイスターソース(サンプル品)300個出荷、掲載メディア10社4媒体、現地商談件数14件

[地域特産品の共同輸出体制の構築]

○ ワンストップ共同輸出モデル形成プロジェクト(宮城)

水産加工品や農産品等の地域の特産品を、共同輸出するための体制を構築した上で、輸出国(香港、タイ、シンガポール)での商談会等を開催し、輸出事業の展開を図る。



<成果>タイに1件、香港に2件の定期的な取引の実現

[広域連携での輸出体制の構築]

○ 広域連携による輸出拡大(青森、岩手、宮城)

3県の水産加工業者7社が連携し、統一ブランドの下、東南アジア諸国で販路開拓・販促活動を行い、輸出拡大を図る。

<成果>フィリピン、シンガポール、タイの輸入業者に、7社50品目以上(約20トン)の水産物・水産加工品を輸出



○ 若手リーダーの連携による輸出拡大(岩手、宮城)

三陸の若手漁師等が連携し、共通のコンセプトの下、生食用牡蠣、ワカメ等を輸出する体制の構築や、香港、タイへの輸出に取り組む。



<成果>タイへホタテ11t、岩牡蠣700個、香港へ岩牡蠣700個を輸出

○「日高見の国」輸出拡大促進事業(岩手、宮城)

水産加工業者が連携して商品開発と営業活動を行い、混載コンテナで輸出(東南アジア、米国等)することにより、効率的な輸出体制の構築と輸出に取り組む水産加工業者の拡大を目指す。



<成果>香港、台湾、タイ、ベトナム、米国に、計8回のコンテナ輸出

[越境電子商取引(EC)販売の拡大]

○ 東北水産加工品等のEC拡大モデル事業(東北全域)

ECを活用した東北水産加工品等の海外輸出を拡大するため、参加企業の掘り起し、対象市場(シンガポール)におけるプロモーションを行う。



<成果>1月10日~3月15日の期間で売上(流通金額)約415万円を達成